

## 一 学 会 録 事 一

## 1. 日本藻類学会第11回大会

昭和62年3月30日・31日の両日、京都大学・楽友会館において第11回大会を開催した。大会会長は坪由宏氏(神戸大)で、参加者は120名であった。49題の一般講演があった。

大会第1日目に同会場において総会を開催し、引き続き京都大学吉田生協会館1階食堂で約2時間にわたって懇親会を開催した。懇親会は高橋永治氏(神戸大)の司会、千原光雄氏(筑波大)の乾杯の音頭で始まり、盛会裡に終了した。参加者は92名であった。神戸大学や大阪大学の教官諸氏および京都大学の学生諸氏には大会運営にあたっていろいろとご協力頂き、厚く御礼申し上げる。

## 懇親会参加者

秋山 優, 鯨坂哲朗, 有賀祐勝, 有山啓之, 安東正行, 飯間雅文, 池原宏二, 石川依久子, 市村輝宜, 今津達夫, 巖佐耕三, 内山喜代子, 梅崎 勇, 榎本幸人, 王 暁陽, 太田雅隆, 大野正夫, 大葉英雄, 大森長朗, 小河久朗, 奥田弘枝, 小沢淳子, Christine A. Orosco, 河西伸治, 加崎英男, 笠井文絵, 笠原 均, 亀井博一, 川合哲夫, 川井浩史, 河崎優子, 川嶋昭二, 喜田和四郎, 清沢弘志, 久保あゆみ, 熊野 茂, 黒田清子, 高 坤山, 小林 弘, 小堀晋爾, 小山章子, 斎藤捷一, 斎藤 護, 清水 晃, 瀬戸良三, 善明美奈, 善家俊二, 平 康博, 高橋永治, 田中次郎, 千原光雄, 坪 由宏, 出井雅彦, 徳田欣之, 徳田 広, 南雲 保, 中島 泰, 長島秀行, 長田敬五, 中谷まり子, 中原紘之, 野崎久義, 能登谷正浩, 鳩貝太郎, 濱田 仁, 原 慶明, Richardo J. Haroun, 半田信司, 東田敏久, 日野修次, Srimanobhas Vitaya, 藤田隆夫, 藤田大介, 堀 輝三, 前川行幸, 松山恵二, 真山茂樹, 右田清治, 明榮秀作, Romeo B. Modelo Jr., 本村泰三, 安井 肇, 籾 漑, 山岸高旺, 山本虎夫, 吉崎 誠, 吉田忠生, 四井敏雄, 若菜 勇, 渡辺信, 渡辺仁治, 渡辺眞之

## 2. 評議員会・編集委員会

第11回大会の前日、3月29日に京都大学・楽友会館において編集委員会(14:00~15:30)および評議員会(15:30~19:00)を開催し、昭和62年度総会に提

出する報告事項・議題などの審議を行った。議題については総会の項を参照されたい。

評議員会出席者: 梅崎 勇会長, 秋山 優, 石川依久子, 巖佐耕三, 榎本幸人, 大野正夫, 喜田和四郎, 千原光雄, 原 慶明, 右田清治, 籾 漑の各評議員および鯨坂哲朗, 市村輝宜, 熊野 茂, 中原紘之各幹事。

編集委員会出席者: 坪 由宏委員長, 石川依久子, 榎本幸人, 高橋永治の各編集実行委員, 秋山 優, 有賀祐勝, 堀 輝三, 吉田忠生の各編集委員, 梅崎 勇会長および鯨坂哲朗, 市村輝宜, 熊野 茂, 中原紘之各幹事。

## 3. 昭和62年度総会

昭和62年3月30日(大会第1日目)の講演終了後、京都大学・楽友会館において総会を開催した。梅崎会長の挨拶に続いて、巖佐耕三氏を議長に選出して議事に入った。

## I. 報告事項

## 1. 庶務関係

(1)会員状況(62年2月現在): 名誉会員3名, 普通会员533名, 学生会員67名, 団体会員44名, 賛助会員14名, 外国会員87名, 購読・寄贈・交換112件。(2)昭和61年度文部省科学研究費刊行補助金「研究成果公開促進費」は110万円で、責任頁は300頁である。なお、昭和62年度分として195万円の申請を行い責任頁は300頁である。(3)日本学会事務センターに会員業務を委託した。委託料は66万2千円である。

## 2. 会計関係

(1)昭和62年度の会費納入率は3月26日現在で普通会员49%, 学生会員46%である。(2)昭和61年度一般会計と同山田幸男博士記念事業基金特別会計の決算報告は昭和62年2月12日、猪川倫好(筑波大)、渡辺眞之(国立科博)の両会計監事により適正であると承認された。

## 3. 編集関係

(1)昭和61年度に発行した第34巻1-4号は、総頁数345頁、掲載論文数36編、短報7編、広告頁15頁である。(2)昭和62年度第35巻1号は、掲載論文数6編、短報1編、第11回大会講演要旨を含め79頁で発行した。同巻2号以降に掲載予定の論文は審査中のものも含めて24編である。

## 4. その他

(1)会則の趣旨に沿って日本藻類学会主催の海藻採集会を大会終了後京都大学農学部附属水産実験所（舞鶴市）で開催する。

(2)日本藻類学会昭和61年度秋季シンポジウムを日本

植物学会第51回大会前日の昭和61年10月6日午後に鹿児島大学水産学部で開催した。

## II. 審議事項

1. 昭和61年度一般会計決算報告および同監査報告は表-1のとおり承認された。 2. 昭和61年度山田幸男

表-1 昭和61年度 一般会計決算報告 (61.1.1~61.12.31)

日本藻類学会

収入の部 (円)		支出の部 (円)	
会費	5,024,339	印刷費	4,956,610
（普通会員）	3,605,000	（印刷代）	4,463,140
（学生会員）	326,500	（別刷代）	493,470
（外国会員）	634,839	編集費	309,598
（団体会員）	258,000	（論文審査料）	29,000
（賛助会員）	200,000	（英文校閲料）	100,000
販売	758,517	（編集補助費）	31,000
（定期購読）	613,800	（通信連絡費）	149,598
（バックナンバー）	144,717	会誌発送費	245,650
別刷代	538,750	庶務費	810,699
超過頁負担金	648,000	（事務用品費）	9,900
広告代	205,000	（会議費）	55,680
利子	6,779	（通信・印刷費）	249,492
プログラム代	19,500	（事務整理補助）	31,500
雑収入	165,492	（諸雑費）	225,927
刊行助成金	1,100,000	（幹事旅費補助）	58,200
		（幹事手当）	180,000
		学会センター業務委託費	661,982
		第10回大会補助	100,000
		秋季シンポジウム補助	20,000
小計	8,466,377	小計	7,104,539
前年度繰越金	1,293,446	次年度繰越金	2,655,284
合計	9,759,823	合計	9,759,823

## 貸借対照表

(昭和61年12月31日現在)

借方 (円)		貸方 (円)	
普通預金（常陽銀行）	959,563	未払金	542,000
普通預金（常陽銀行）	110,900	前受会費	42,000
学会センター預け金	883,712	前期繰越金	1,293,446
郵便振替	36,457	当期繰越金	1,361,838
小口現金	155,052	次期繰越金	2,655,284
未収金	893,600		
仮払い金	200,000		
合計	3,239,284	合計	3,239,284

昭和62年2月12日

本会計決算報告は適正であることを認める。  
昭和62年2月12日

日本藻類学会会長 千原光雄 ㊟  
日本藻類学会会計幹事 加藤季夫 ㊟  
日本藻類学会会計監事 猪川倫好 ㊟  
日本藻類学会会計監事 渡辺眞之 ㊟

博士記念事業基金特別会計の決算報告および監査報告は表-2のとおり承認された。3. 昭和62年度一般会計予算案は表-3のように可決承認された。4. 編集関係として次の事項が承認された。(1)学会誌の英文略語を36巻より Jpn. J. Phycol. に変更すること。(2)審査員への謝金を廃止し、その年度にお世話になった審査員一覧表を巻末に記して謝意を表わすこと。(3)別刷料金が値上げされること。(4)学会誌「藻類」の英文投稿規定の写真原図の項から (or an original and two photocopies) を削除し、和文投稿規定の写真原図の項に(電子複写などは不可)と挿入すること。5. 昭和62・63年度事業計画として次の事項が決められた。(1)本年度の秋季シンポジウムは筑波大学で開かれる日本植物学会第52回大会前日の11月25日に国立公害研究所の渡辺信氏と国立科学博物館の渡辺眞之氏を世話人として筑波郡谷田部町の国立公害研究所で開催する。(2)来年度の日本藻類学会第12回大会は岩崎英雄氏を世話人として三重大学で開催する。(3)来年度に予定している会員名簿発行の資料とするため、全会員に往復葉書により住所等の確認を行う。6. 会則の第8条に次の文章を挿入することが承認された。「会

長の承認を得た外国人留学生は帰国前に学生会費の10年分を前納することができる。」7. 特殊法人日本科学技術情報センターより会誌「藻類」の英文抄録利用の申し出があり、有料で掲載を認めることが承認された。8. 第13回国際海藻会議(1989年カナダ国バンクーバー市で開催)については、問題により、会員としてまたは有賀祐勝会員(国際諮問委員)を通じて協力してほしい旨の報告があった。

#### 4. 日本藻類学会主催海藻採集会報告

昭和62年3月31日(火)日本藻類学会第11回大会終了後、路線バスで京都大学農学部附属水産実験所(舞鶴市)に移動して、4月1日(水)～2日(木)に海藻採集会を開催した。学会会長梅崎勇氏と中原紘之氏(京大)を講師に本学会会員を中心に下記の30名(手伝いを兼ねた京都大学の大学院生6名を含む)が参加した。4月1日午前中は福井県大飯郡高浜町の海岸で磯採集、午後から2日正午まで採集品の整理・同定観察と海産藍藻類の観察や海藻類に付着する珪藻の処理方法の指導などがあった。なお、本海藻採集会の内容の詳細は大葉英雄氏(東水大、植物)の参加記(次号

表-2 昭和61年度 山田幸男博士記念事業特別基金会計決算報告(61.1.1～61.12.31) 日本藻類学会

収入の部 (円)		支出の部 (円)	
山田幸男博士追悼号(5冊)	35,000		
学会出版物売上金			
コンプ論文集(5冊)	5,000		
日米セミナー(1冊)	4,000		
利子	15,398		0
小計	59,398	小計	0
前年度繰越金	1,352,655	次年度繰越金	1,412,053
合計	1,412,053	合計	1,412,053
貸借対照表		(昭和61年12月31日現在)	
借方 (円)		貸方 (円)	
定期預金(住友銀行)	1,311,846	前期繰越金	1,352,655
普通預金(住友銀行)	92,207	当期繰越金	59,398
未収金	8,000		
		次期繰越金	1,412,053
合計	1,412,053	合計	1,412,053

昭和62年2月12日

本会計決算報告は適正であることを認める。  
昭和62年2月12日

日本藻類学会会長 千原光雄 ㊟  
日本藻類学会会計幹事 加藤季夫 ㊟  
日本藻類学会会計監事 猪川倫好 ㊟  
日本藻類学会会計監事 渡辺眞之 ㊟

表-3 昭和62年度 一般会計予算案

日本藻類学会

収 入 の 部 (円)		支 出 の 部 (円)	
会 費	4,541,900	印 刷 費	4,500,000
普通会員 (533)	3,357,900	印刷代	3,700,000
学生会員 (67)	335,000	別刷代	800,000
外国会員 (87)	310,000	編 集 費	320,000
団体会員 (44)	319,000	英文校閲料	100,000
賛助会員 (14)	220,000	編集補助費	50,000
販 売	690,000	通信連絡費	170,000
定期購読 (99)	540,000	会誌発送費	250,000
バックナンバー	150,000	庶 務 費	930,000
別 刷 代	880,000	事務用品費	60,000
超 過 頁 負 担 金	240,000	会 議 費	50,000
広 告 代	200,000	通信・印刷費	200,000
利 子	10,000	事務整理補助費	60,000
プ ロ グ ラ ム 代	30,000	諸 雑 費	200,000
雑 収 入	30,000	幹事旅費補助	180,000
刊 行 助 成 金	1,100,000	幹事手当	180,000
		学会センター業務委託費	710,000
		第11回大会補助	100,000
		秋季シンポジウム会場費	50,000
小 計	7,721,900	小 計	6,860,000
前年度繰越金	2,655,284	予 備 費	3,517,184
合 計	10,377,184	合 計	10,377,184

## 日本藻類学会第11回大会会計報告 日本藻類学会大会準備委員会

収 入 の 部 (円)		支 出 の 部 (円)	
大会参加費		プログラム代	30,000
予約 (75件)	180,500	会場使用料	75,600
当日 (45件)	110,500	懇親会会食代	214,800
懇親会費		アルバイト代	260,000
予約 (57件)	142,500	諸 雑 費	96,818
当日 (35件)	87,500	学会返還金	23,782
学会補助金	100,000		
商品展示代金 (2件)	40,000		
寄付 (2件)	40,000		
合 計	701,000	合 計	701,000

昭和62年4月20日

第11回大会幹事 鯨坂哲朗 ㊟

掲載予定)を参照されたい。

参加者：川井浩史 (北大・理), 千葉尚二, 池原宏二 (日本海水研), 小林和幸 (東邦大・理), 藤田隆夫 (日大習志野高), 乾風 肇 (環境化学KK), 能登谷正浩 (青森県水産増殖センター), 鍋島靖信 (大阪水試), 飯間雅文, 若菜 勇 (以上北大・理・海藻研), 大

谷修司 (国立極地研), 榎本幸人 (神戸大・理), Christine A. Orosco (高知大・海洋生物センター), 黒田充恵 (大阪成蹊女子短大・一般教養), 大葉英雄 (東水大・植物), 二宮早由子, 上杉伸子 (以上KK東京久栄), 奥田弘枝 (広島女学院大), 斎藤 譲 (北大・水産), 倉島 彰 (筑波大・生物系), 東田敏久 (塩野香料

KK), 太田雅隆 (海生研), 佐野 修 (金沢水族館), Romeo B. Modelo Jr., 笠原 均, 高 坤山, 二宮浩  
Richardo J. Haroun (東水大・植物), 中谷まり子, 司, 瀧 憲司 (以上京大・農) 一申込み順一

—会 員 移 動—  
新 入 会

住 所 変 更

退 会

松江和則 (茨城県), 宮川 勝 (長野県), 大田啓一 (愛知県), 河合 博 (三重県), 井口数彦 (広島県), 保久村  
昌碩 (沖縄県)